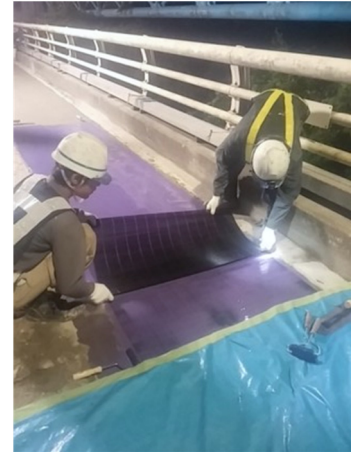




# ストランドシートJCM埋設工法

ストランドシートJCM埋設工法は、従来の連続繊維シートによる床版上面接着補強工法を進化させた画期的な工法です。打継用エポキシ樹脂接着剤と、超速硬繊維混合型ポリマーセメントモルタルにストランドシートを組み合わせることで、圧倒的な施工短縮が可能です。

- **こんなところに**  
・遮音壁の更新 ・新設などによる風荷重の増大箇所  
・床版縁端拡幅工事 ・中央分離帯連結工事などによる床版上面補強全般
- **急速施工を実現**  
切削した床版上面に、打継用接着剤塗布から仕上げモルタルまで、途中の硬化養生を待たずして連続した施工が可能のため、急速に施工できます。工場を含浸成形済みのストランドシートを使用するので、現場含浸工程が不要で短時間施工が可能です。
- **短い養生時間**  
エポキシ樹脂は通常7日間程度の養生が必要ですが、超速硬繊維混合型ポリマーセメントモルタル(JCM)を使用するため3時間程度で交通開放可能な圧縮強度を発現します。
- **大きな補強効果**  
ストランドシートは高弾性型で1,500/m<sup>2</sup>までラインアップしており、トウシート工法よりも1層で大きな補強効果が得られます。
- **高い耐久性**  
ストランドシートが、完全に埋設される構造のため舗装改修の際にも、ポリマーセメントモルタルが保護層になります。また、施工全厚みは13mm程度と薄く舗装などへの影響もほとんどありません。

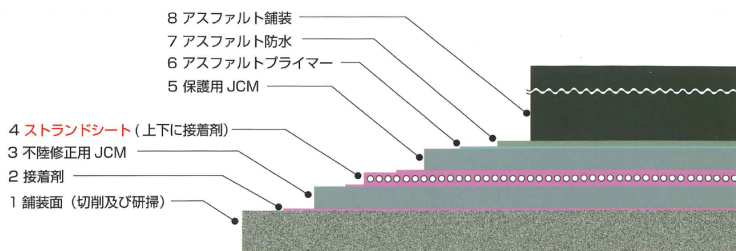


## ラインアップ

### 【炭素繊維ストランドシート】

品番	繊維種類	繊維目付 g/mm <sup>2</sup>	設計厚さ mm	引張強度 N/mm <sup>2</sup>	引張弾性係数 N/mm <sup>2</sup>
FSS-HT-600	炭素繊維(高強度)	600	0.333	3,400	2.45 × 10 <sup>5</sup>
FSS-MM-600	炭素繊維(中弾性)	600	0.330	2,900	3.9 × 10 <sup>5</sup>
FSS-MM-700	炭素繊維(中弾性)	700	0.385	2,900	3.9 × 10 <sup>5</sup>
FSS-HM-600	炭素繊維(高弾性)	600	0.286	1,900	6.4 × 10 <sup>5</sup>
FSS-HM-750	炭素繊維(高弾性)	750	0.357	1,900	6.4 × 10 <sup>5</sup>
FSS-HM-900	炭素繊維(高弾性)	900	0.429	1,900	6.4 × 10 <sup>5</sup>
FSS-HM-1500	炭素繊維(高弾性)	1,500	0.714	1,900	6.4 × 10 <sup>5</sup>

## 施工断面図



## 施工手順



＜ご注意とお願い＞ 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。